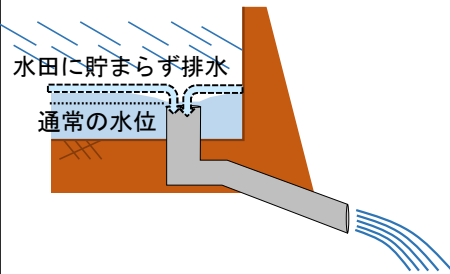


「田んぼダム」のしくみ

県南農林事務所土地改良部門事業調整課

- 「田んぼダム」は、水田の持つ雨水貯留機能を強化する取組で、水田の落水口に落水柵を設置し、より多くの雨水を水田に一時的に貯めることにより、**排水路や河川への水の流出を遅らせ**、下流の住宅等の**洪水被害の軽減を図る取組**です。
- 近年の頻発・激甚化する水害リスクに備えるために、「流す対策」や「貯める対策」などの流域治水対策が求められており、田んぼダムは、**低コストで簡易に設置できる有効な「貯める対策」**として取組を推進しています。

田んぼダム未実施



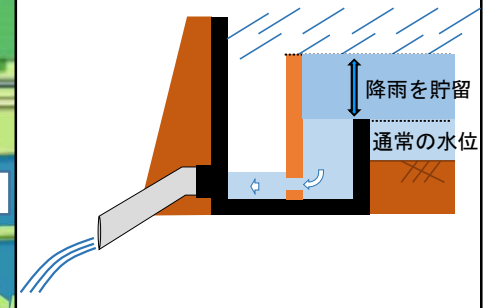
排水管（塩ビ管）を越流した時点で、水田から排水が開始。



排水路へ従来通り雨水を流出



田んぼダム実施



堰板の小さな穴により、排水が抑制され、水田内に雨水が貯留。



排水路への雨水の流出を抑制

「田んぼダム」のしくみ

1 「田んぼダム」に取り組む際のポイント

(1) 水田に降った雨を貯留する取組です

「田んぼダム」は、**水田に降った雨を一時的に貯留する取組です**。排水路や河川から水を引き入れるものではありません。

(2) 作物の生育に影響を与えない範囲で行う取組です

「田んぼダム」は、**作物の生産に影響を与えない範囲で**、農業者の協力を得ながら実施する取組です。
⇒茨城県内の取組み地区においては、作物の生育への影響は出ていません。

2 茨城県における「田んぼダム」の取組事例

県内6市村12地区約220.7haで実施（R6.3時点）



《茨城町》 国営茨城中部 大串下大野団地(R5.6)



《笠間市》 経営体 笠間大洲地区(R6.8)

雨水貯留機能を持つ水田の重要性を地域の皆さんにご理解いただき、身近な対策で、お住まいの地域を守っていきましょう。